

# 桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.fool.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。  
どなたでもご参加いただけます。  
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

## @web

# 第73回

2023年  
2月11日(土・祝)  
15:00 ~ 17:00  
ルームオープン: 14:40

Zoomにて開催! **参加無料**

★メールでのお申し込みが必要です。  
Zoomの参加URL(ルーム番号とパスワード)をお送りします。  
※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。

## ウクライナ侵攻を考える4

# ロズニツアの『新生ロシア1991』、私の『ロシア1991』

報告者: 斎藤 秀明



赤の広場に集結した戦車 (ANNニュース1991年8月より)



戦車兵へのインタビュー (ANNニュース1991年8月より)



1991年8月19日早朝、短期出張取材のため投宿していたモスクワのホテルで枕元の電話が鳴った。寝ぼけ眼で受話器を取ると本社デスクの声で眠気が吹っ飛んだ。

——クレムリンでクーデターだ。モスクワ支局でカメラマンと合流して取材せよ。

支局のカメラクルーとともに赤の広場へ向かうと歴史的建造物の周りに居並ぶ戦車の威圧的光景は白昼夢さながらであった……。



セルゲイ・ロズニツア  
監督(1964 ~)

映画『新生ロシア1991』(2015/日本公開2023)  
<https://www.sunny-film.com/theevent>

あれから32年。日本ではロズニツア監督の映画『新生ロシア1991』が公開されている。現在進行形のウクライナ侵攻も9年前のクリミア併合も、あるいは絶え間なく続くカフカス地域の紛争もソ連崩壊を抜きにしては語れない。そしてその歴史的座標軸の中心には8月のクーデターがある。

ロズニツアがアーカイブ映像を駆使して甦らせようとしたものは何か。そして偶然にもモスクワに居合わせたことから歴史的事件の取材を体験した記者は当時の映像を振り返りながら何を語るか。「1991」から照射するロシアの未来は?

●斎藤 秀明(さいとう ひであき)

1955年名古屋生まれ。1979年東京外語大ロシア語科卒。  
同年名古屋テレビ放送入社、報道記者などを経て2017年退職。  
現在はボランティアの日本語教師など。



(ANNニュース1991年8月より)